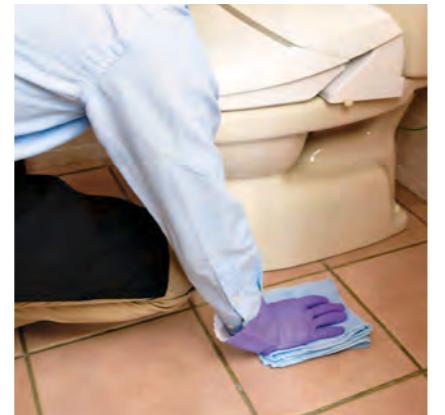


大便器

汚れが溜まりやすく、臭いの原因になるのは「ふちのウラ」
力はりませんのでブラシをフィットさせることを意識して滑らせましょう。



汚れていると見た目の印象がマイナスなのが「便座のウラ」
湿ったエヌでふき取りましょう。ひどい汚れはスポンジなどで擦りましょう。



大便器も小便器もポイントは「ウラ」と「床」

ポイントを押さえて短時間で効率よく
きれいなトイレを維持しましょう!

小便器

尿の跳ね汚れが溜まりやすく臭いの原因
になるのが「フチのウラ」



こちらもブラシを添わせるように清掃しま
しょう。



尿の跳ね返りや垂れこぼしで汚れやすい
「床」。床が濡れていると、濡れたところを踏ま
ないよう後ずさってしまうため、汚れ拡大の
悪循環になります。こまめにふき取りましょう。



まとめ

アメニティネットワークのサービスの基本は「予防型メンテナンス」です。サービスマンが定期的にお伺いして、トイレが汚れる前に、臭くなる前に快適性を保つお手伝いをしていますが、何にも勝る予防メンテナンスは、毎日の日常清掃であることは言うまでもありません。

アメニティネットワークのサービスが病院での定期健診だとすれば、日常の清掃は毎日の食事や運動や睡眠。日常清掃がしっかりできていれば、「汚れ」「臭い」「詰まり」などの病気も遠ざけることができますね。日常清掃でトイレの健康を維持ていきましょう!

日本トイレシンポジウム参加レポート

Toilet Topics

11月(いい)10日(トイレ)のごろ合わせで日本トイレ協会がトイレの日を定めたのが1986年の11月10日、第一回のトイレシンポジウムの開催の席でした。そこから数えて37回目のトイレシンポジウムが2021年11月18日、東京ビックサイトのトイレ産業展の会場内で行われました。今回は「トイレ利用の多様性と尊厳」のテーマで活発な意見交換がなされました。会場はほぼ満席、また今回はオンラインでの配信も行われました。



基調講演では、「トイレを利用する権利は人権そのもの」というお話を伺いました。人権は、弱い者への「配慮」や「思いやり」という観点で語らがちですが、そうではなくすべての人が「保証」されるものであるという点が印象に残りました。そのように考えると、障害があつたり、性的マイノリティであつたり、子育て中や避難所にいる等にかかわらず、トイレを利用するということは権利として当たり前に享受されるべきものだと意識を新たにしました。

その後のパネルディスカッションでは、車いす利用者、重度知的障害者の親、トランジエンダー、車いすでの子育てなど、様々な立場からトイレを利用する際の困りごとや実体験を語っていただきました。本当にその立場ではないとわからないことや独自の感じ方があるのだなと思いました。今後トイレの建築設計や施工、メンテナンスに関しても、そ



ういった人たちを一人も取りこぼすことなく、声を反映して生かすことが必要だと思いました。

また、日本トイレ協会若手の会flushからは「公共トイレ清掃員の性別に関する意識調査」の報告がありました。日本では長年、男性トイレを女性が清掃することが当たり前でした。今回の調査では、異性の清掃員を気にしていない層も一定数いるものの、特に女性は抵抗を感じる人が多いことがわかりました。今後の清掃員のあり方に一石を投じる調査になったのではないかと感じました。

日常清掃は しっかりしているのに トイレがおしつこ臭い!



正直トイレそうじ
にここまで手が
かけられない

これがアンモニア臭の
抑制に特化した
プロの消臭剤の力!

臭いをもとからきちんと消臭した後は
ミントの香りで爽やかトイレへ

そんなときは! HARUミント

尿を
アンモニア化させない +
防臭効果



※酸性の液性ですので天然石などへのご使用はお控えください。

市販のスプレーモップと
一緒に利用すれば
もっとかんたんらくらくに
モップ掛け

↓説明動画はこちら



もっとかんたんらくらくに
モップ掛け

↓説明動画はこちら

